

WEEKLY REPORT

諸先輩方々からすれば経験不足の16年会員と言われるでしょうが感じた思いですのでお許し願いたく存じます。

中でも浅野久会員においては昔から父の友人で会った事もあり、私が小学校時代よりお世話になっている関係で当クラブの会長を務めた際は父と共に大変喜んで戴いた事を記憶しています。

私も先程にふれさせて頂きました通り長年に渡り歯科技工業務と言う、表現が妥当とは言えませんが工房にこもり切りの職人でありましたので世間との携わりの少ない状況が長年続きました。会社経営であったとはいえ運営組織論や人間関係の築きなどには疎かった気がします。そのような中で浅野会員や紹介者の小菅さんから入会以前よりロータリークラブの話の間かされて自身も納得の上でメンバーに迎え入れて頂きました。

但し、それから暫くは只々に例会に出席するだけで身勝手な欠席も多かったこと正直に申し上げます。

そして、ある時期より諸先輩方がプライベート含め、会社運営にかかわるイロハ等を気さくに話して頂けるようになって行きました。ここで感じたのは「少しクラブに受け入れてもらえたかな」と言う気持ちです。

今までに聞いたことが無かった、人との関わり方をはじめ事業経験談や対策方法など耳にする一つ一つが私自身を成長させてくれていると現在も「有難さと感謝」は継続中です。当時は欠席も多かったと述べましたが『例会欠席はもったいない』との気持ちに変化が起きたのも自身ではそこに『魅力』があったと思います。

勿論、お付き合いも多くなりクラブ親睦をはじめ個人的にも食事会や旅行にもお誘いを受けることが増えていき現在では他クラブ会員よりも誘いの声掛けを頂戴できるまでになりました。

最近になり私自身が感じた事ですが、ロータリー論は今も理解しきれていない内容が多く勉強中ですが、先ずはロータリー会員としての存在を自覚すること、また、人への気遣い、思いやりの心が会員交流の中で要素が多いのだと思っています。

会員皆様が『社会に還元する奉仕運営の目的』を意識してロータリークラブ入会を選択したと思います。

1会員として正直申し上げれば社会の変化に伴う対応策の模索が地区含め松戸北ロータリークラブにも生じてきている事は皆様もご承知と思っております。

本日のこの場をお借りし私見な意見となりますが、現在において、活発で賑やかな雰囲気を生み出している松戸北ロータリークラブですので以下へのご賛同を今後更に期待しております。

『会員の確保と会員増強』『会員として職業奉仕理論への見直しと確認』『ロータリー運営に関わる情報共有強化』自クラブ運営としても随所において緩みを生じさせてはいけなと感じております。

会員の皆様は先輩・後輩に捉われず、如何に思いますか？

まとまりませんがご視聴ありがとうございました。

松戸北ロータリークラブ会報



「四つのテスト」 言行はこれに照らしてから

- 1・真実かどうか
- 2・みんなに公平か
- 3・好意と友情を深めるか
- 4・みんなのためになるかどうか

例会出席率 65.6%

第2477回 例会 2025年 3月26日(水)

- 国際ロータリー会長 ステファニーアーチック
- 例会日 - 毎週水曜日12:30より (第1例会18:30)
- 第2790地区ガバナー 寒郡 茂樹
- 例会場 - 流山市前ヶ崎717「柏日本閣」
- 第13Gガバナー補佐 尾崎 裕一
- 事務所 - 松戸市八ヶ崎1-11-13 サンライズハイツ101
- 松戸北ロータリークラブ会長 柳 孝実
- TEL/FAX- 047-711-5950 / 047-711-5910
- 松戸北ロータリークラブ幹事 関 征啓
- Web/Mail- www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

<第2467回 例会プログラム>

司会 南貴子会員

12:30 点鐘	柳孝実会長
ロータリーソング斉唱【♪我等の生業】	
12:33 お客様紹介	野澤新之助会長エレクト
12:35 会食	
13:00 例会再開	
会長挨拶・理事会報告	柳孝実会長
幹事報告	関征啓幹事
13:05 会員卓話	渡辺敏弘会員
13:15 会員卓話	高橋一彦会員
13:25 諸事お祝い	
出席親睦委員会 本日の出席率発表	大川高明会員
社会奉仕委員会 本日の社会奉仕基金発表	大塚精一会員
ニコニコ委員会 本日のニコニコ発表	中原光男会員
13:30 4つのテスト及び点鐘	柳孝実会長

<会長挨拶>

柳孝実会長



皆さん、こんにちは。
東京では24日に桜の開花が発表されました。平年比ではプラスマイナス0、昨年比で5日早い開花となっています。松戸市では今週末の29日(土)、30日(日)に「常盤平さくらまつり」が開催されますが、その頃には桜が見頃になっているのではないかと予想されています。また桜は開花から散り始めまで10日から2週間と言われておりますので、4月2日の花見例会では東漸寺さんの満開の桜を皆さんと見られるのではないかと思います、とても楽しみにしております。日没が18時前ですので、花見例会は明るいうちに桜を楽しむようにと大塚クラブ奉仕委員長のご配慮で17時30分点鐘と少し早めのスタートとさせていただきます。是非早めにお越しいただき桜を楽しんでいただければと思います。

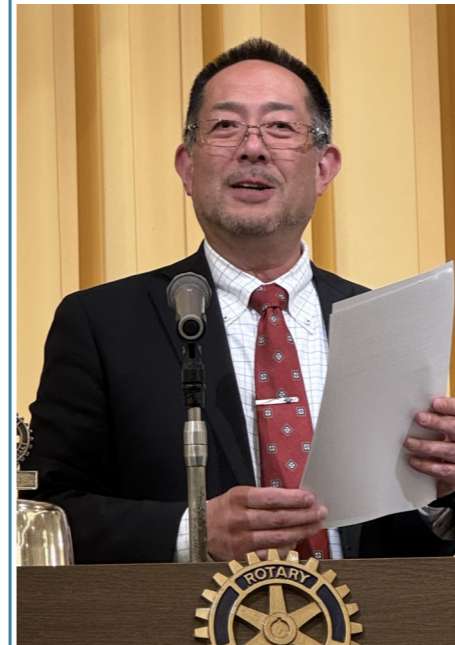
さてここでクラブ内の動きを皆様に共有させていただきます。

1. 22日に野澤会長エレクトにPELS(会長エレクトラーニングセミナー)にご出席いただきました。いよいよ野澤・澁谷年度も始動したなというところでしょうか。あっという間に7月1日がやってくるので、万全の態勢でスタートを切っていただきたいと思ひますし、みんなでサポートして盛り上げていきましょう。

最後にロータリーの高邁な理念、哲学、精神もさることながら、とりわけ素晴らしい会員との出会いがあり支えられて来たからこそこの歳になるまで居続けられ、その中でロータリーの友情と寛容の心に身を以て触れることが出来ましたことは私の人生に何事にも代え難い貴重な経験となりました。

<会員卓話>

高橋一彦会員



本日はプログラム委員会よりのご指名により卓話との依頼を賜りました。

私のような者が諸先輩方はじめ会員皆様の前でお話させて頂く事は心苦しいのですが少々のお時間を拝借したく存じます。まずは入会間もない会員方々もいらっしゃる様ですので私が当クラブへの入会に至るまでの経緯を自己紹介ふくめ触れさせていただきます。

昭和40年に松戸にて生を受け還暦を迎える今年に至るまで他地区に移住する事無く現在を迎えております。高校卒業後に現在は廃校になりました東京歯科大学系列の歯科技工士専門学校に進み無事に技工免許を所得。その後は東京歯科大学内の医局にございました専攻科に在籍し臨床経験を重ねさせて頂き、課程修了後に専門学校に教員として3年間勤務し退職後の平成元年(1989年)に東京の金町にて歯科技工所開業。そして平成6年(1994年)に新松戸に工房を移転して以来20年間にわたり歯科医療に携わって参りました。しかしながら、歯科治療においての制作物の変化と機材設備の高額化により職人少数での対応が困難となり10年ほど前に歯科医療業務よりは撤退する運びとなりました。その間でしたが移転当初より、当クラブメンバーの浅野久会員より野村充会員への繋ぎを頂戴し松戸市内での歯科診療においても長年において大変にお世話になった次第です。その時点では入会には至っておりませんでした。後々にロータリーの会員としての縁繋がりや近隣地区への貢献への大切さをその時から教えられていたような気が致しました。

時は過ぎ、現在は父の設立した会社を兄弟にて支えており業務的には不動産管理となります。因みにですが、退会はしましたが父は当クラブ在籍経験もあり、また、兄弟は現在、松戸西RCに在籍中のございます。さて、私事に戻り、松戸北クラブに対しては以前に退会はされている小菅正彦さんの紹介により2008年2月12日に入会させて頂き現在16年が過ぎ17年目を迎える時期となります。同期は平田洋一さんです。

ここからは少しクラブに向けて経験と感謝の気持ちとして皆様に聞いて頂けると幸いと存じます。

ここからは少しクラブに向けて経験と感謝の気持ちとして皆様に聞いて頂けると幸いと存じます。

<会員卓話>

渡辺敏弘会員



皆様こんにちは。

私はロータリーにつきましてはいささか不勉強、不熱心でして、卓話は少々無理ですので、由無し事を話したいと思います。

入会したのは1996年1月、52歳でして、在籍29年。月日の経つのは早いもので、もうと言うかまだと言うか、80歳になってしまいました。

紹介者は当クラブ今も現役バリバリの吉田会員で、ある時酒席に誘われまして、色々ロータリーに関し説明を受けたのですが、今となっては何も記憶に残っていませんが、ただ一つだけ覚えておりますのはこう仰ったことです。「自分はロータリーの会長なので、新しい会員を入れなくてはならないのだ」と。会長職とはかくも大変であるものだと思います。と申しますのは、それより数年前、松戸のライオンズの会長より同様の理由で勧誘されましたから。私ご馳走を賜りますと断れない

性分です。後の関門はそろそろ立場が逆転しつつあった妻の承諾です。恐る恐る申し出をしたら「アンタ男50歳を過ぎると友人がだんだんいなくなるよ」との返事があり入会した次第で、会長は吉田会員の後の小林良夫会員でした。

入会してみますと小金の宿の有力者、いわゆる旦那衆がキラ星の如く鎮座しており、例えば屋号が飴屋の永妻さん、玉屋の鈴木さん、笹屋の竹内さん、和泉屋の高橋さん、私の入会後には井筒屋の大塚さん、湯屋の高橋修さんなどなど。当地では未だに屋号で呼ばれることが多くあります。

私事になりますが、屋号は山城屋と言われており、どこまで本当か分かりませんが、江戸中期本所より当地に移り、僅かばかりのら田畑を耕しながら街道の旅人を相手に商いをして糊口を凌いでいた、言わば沈みっぱなしの暮らした様です。ところが幕末から明治にかけて始めたある商売が当たりまして、最盛期には一日店を開けると田一枚買えたということです。田一枚とは300坪です。10日で3000坪(一町歩)。大変な数です。

余談となりますが、田一枚という語句で思い出されるのは廃人芭蕉の紀行文奥の細道の中の一句「田一枚植えて立ち去る柳かな」栃木的那須辺りで詠んだものです。皆さん学校で学んだことと思いますが、奥の細道には有名な句が多くありますが、私不思議なことに今も二首覚えています。紀行最北の地、山形秋田県境の鳥海山を越えた象瀉で詠んだ「象瀉や雨に西施がねぶの花」西施とは古代中国の美女。越後と越中境の地、糸魚川は市振での「一家に遊女も寝たり萩と月」。二首とも女性が主人公ですね。

さて話を戻しますが、商売繁盛といえども世の中そんな甘くはない、旨い商売永続はしないものです。やがて左前となり、元の木阿弥、しがた農家に戻ってしまいました。

その様な訳でして、農家の長男としてこの地で生まれて、父の後を継ぎ、ネコの額より少しばかり広い畑で40歳位より野菜を作っています。今春のシーズン到来し、今月からジャガイモ、枝豆、トマト、きゅうり、とうもろこし等の種蒔きです。目下晴耕雨読の日々です。

2. 23日に次年度地区補助金の申請書を野澤会長エレクトにご提出いただきました。申請内容は「黄金クリスマスイルミネーション」のシンボルツリー設営に関する資金面の支援、並びにイルミネーションの設営・撤去作業及び点灯式会場設営の人的支援のとなっております。地域において積極的に奉仕活動を行い、地域に認知されることは、松戸北ロータリークラブが何をしている団体なのか知っていただく絶好の機会です。活動の中身が見える化することは、会員増強にも繋がっていくものと考えております。是非多くの会員の皆さまにご参加いただき、松戸北ロータリークラブを地域にアピールしていきましょう。

3. 4月13日に23名の米山奨学生を迎えてのオリエンテーションが開催されます。こちらには平田会員にご出席いただきます。カウンセラーとして、また世話クラブとしての活動の第一歩となります。今後も米山奨学生関連の活動については適宜ご報告していきたいと思っております。

4. 4月23日の例会終了後、ボウリング大会を企画しております。こちらは関由貴会員、小椋会員、平田会員が中心となって企画していただいております。ベテラン会員の皆さまにおかれましては青春時代に磨かれた腕を存分にご披露いただきたく存じます。また詳細は実行委員会よりご案内がありますが、例会終了後の開催ですので、是非予定を開けておいていただき、ボウリングを通して会員同士の親睦を存分に図っていただければと思いますので、宜しくお願い致します。

5. 6月7日に歩こう会を開催いたします。事前に齋藤國春会員、渡辺会員と相談させていただき、お二人の経験から色々なアドバイスをいただき、第一回は鎌倉散策となりました。

皆さまにお楽しみいただける企画になるよう、準備のために4月4日に下見に行くことも決まりました。本番の歩こう会には是非たくさんの方の会員の方にご参加いただければ幸いです。こちら先ずは日程を開けておいていただければと存じます。詳細はまたご案内させていただきます。

このようにクラブ内でも色々動きがありますので、皆様にクラブの動きに関心をお持ちいただき、知っていただけるように、またイベントがあればご参加いただけるように、アナウンスして参りますので、ご協力よろしくお願い致します。

皆さんにご参加いただくことが、準備にご尽力いただいている方々の励みになりますので、是非皆さんで松戸北ロータリークラブを盛り上げていきましょう。